

東京アジアユースパラゲームズ

熱戦映像ネット配信

NPO法人、HPで無料放映

アジア三十一カ国から十四〜十九歳の障害者アスリートが参加する「東京2009アジアユースパラゲームズ」が十日、都内で開幕した。競技の熱戦の映像は、障害者スポーツを支援する特定非営利活動法人（NPO法人）「STAND」（スタンド）によって、インターネットを通じて世界中に配信される。

「STAND」は渋谷区と金沢市に拠点を置く。障害者スポーツでは、会場に行って応援できない関係者が多いため、「モバチュウ」というサイトを設けて試合の映像配信をしている。

パラゲームズの競技は十一〜十三日まで開催される。六つある競



アジアユースパラゲームズをインターネットで中継する伊藤数子副代表理事（右から2番目）らNPO法人「STAND」のスタッフ＝渋谷区の東京体育館で

技のうち、陸上、水泳、ゴールボールの三競技を家庭用ビデオカメラを使って中継。携帯電話のカメラで撮影した選手のインタビューも配信する。

専用サイトには「NPO法人STAND」のホームページから接

続でき、生中継や録画映像を無料で見られる。応援メッセージの送信もできる。STANDの伊藤数子副代表理事は、「選手たちが記録に挑む姿を国内外の多くの人に見てほしい」と話している。

（村松権主鷹）